

要 請 書

平成18年11月28日

厚木基地騒音対策協議会

殿

厚木基地騒音対策協議会

会長 松沢 成文

平成18年11月28日

厚木基地騒音対策協議会

会員

神奈川県知事
横浜市長
藤沢市長
相模原市長
大和市長
海老名市長
座間市長
綾瀬市長
神奈川県議会議員
神奈川県議会議員
神奈川県議会議員
神奈川県議会議員
神奈川県議会議員
横浜市議会議員
藤沢市議会議員
相模原市議会議員
大和市議会議員
海老名市議会議員
座間市議会議員
綾瀬市議会議員

松沢 成文 (会長)
中田 宏
山本 捷雄
小川 勇夫
土屋 侯保
内野 優
星野 勝司
笠間城治郎
中村 省司
安藤 博夫
江田 実
笠間 茂治
益田はやお
伊波洋之助
国松 誠
今井 満
前田 邦壽
森田 完一
小川 成男
山岸 篤郎

顧問

衆議院議員 桜井 郁三
衆議院議員 甘利 明
衆議院議員 あかま二郎
衆議院議員 河野 太郎
衆議院議員 亀井善太郎
参議院議員 小林 温
参議院議員 松 あきら
参議院議員 小泉 昭男
参議院議員 浅尾慶一郎
参議院議員 千葉 景子
参議院議員 川口 順子
オブザーバー
町田市長 石阪 丈一

厚木基地における米空母艦載機の夜間連続離着陸訓練による 航空機騒音の解消等に関する要請

厚木基地周辺住民は、航空機騒音により、長年にわたり堪え難い苦悩を強いられており、神奈川県及び基地周辺市は、かねてより、このような航空機騒音問題の抜本的解決を求めてまいりました。

こうした中、平成18年5月には在日米軍再編協議において、騒音被害の主な原因である空母艦載ジェット機等59機を2014年（平成26年）までに移駐させること等が日米両国政府間で合意され、その実施に向けた閣議決定がなされました。

しかし、移駐が実現されるまでには、解決されなければならない多くの課題があると思われ、それまでの間、基地周辺の住民は、NLP^(注1)直前の集中的訓練をはじめとする昼夜を問わない激しい騒音や、墜落、部品落下、不時着などの事故への不安にさらされ続けなくてはなりません。

三次にわたる騒音訴訟でも、基地周辺住民が受忍限度を超える騒音被害を受けているとの司法判断がなされていることは、その負担の深刻さを示しています。

ついては、厚木基地騒音対策協議会では、一日も早い騒音問題の抜本的解決を図るため、国の責任において、特に次のことを早急実現するよう要請いたします。

また、文書にてご回答くださいますよう併せてお願いいたします。

1 空母艦載ジェット機の移駐等を着実に実施すること

貴職におかれては、空母艦載ジェット機の移駐等の早期実現を図るため、施設整備、予算措置、地元への適時適切な説明など、必要な対応を着実に実施するとともに、移駐にかかる諸課題の解決に向けた協議等に全力を尽くされるよう求めます。

2 移駐実現までの間も、騒音問題の解決に積極的に取り組むこと

(1) NLPの硫黄島での全面実施及びNLP直前の集中的訓練の硫黄島の活用等

貴職におかれては、厚木基地周辺住民の深刻な騒音被害の状況を深く認識され、NLPの硫黄島での全面実施及びNLP直前の集中的訓練における硫黄島の活用などについて、積極的に米側と調整するよう、強く要請します。

その実現に向けて、

ア 本協議会が提案している、いわゆる「直結方式」^(注2)や硫黄島での予備日の設定など、必要な措置についての多角的な検討を行うこと

イ 支援態勢、施設の一層の拡充、整備を推進することを提案いたします。

(2) NLP直前の集中的訓練に関する事前情報提供

住民の苦痛を少しでも軽減・緩和するため、NLP直前の集中的訓練についても、貴職の責任において、NLP同様の的確な事前情報の提供を行うとともに、住民への十分な説明を行うよう要請します。

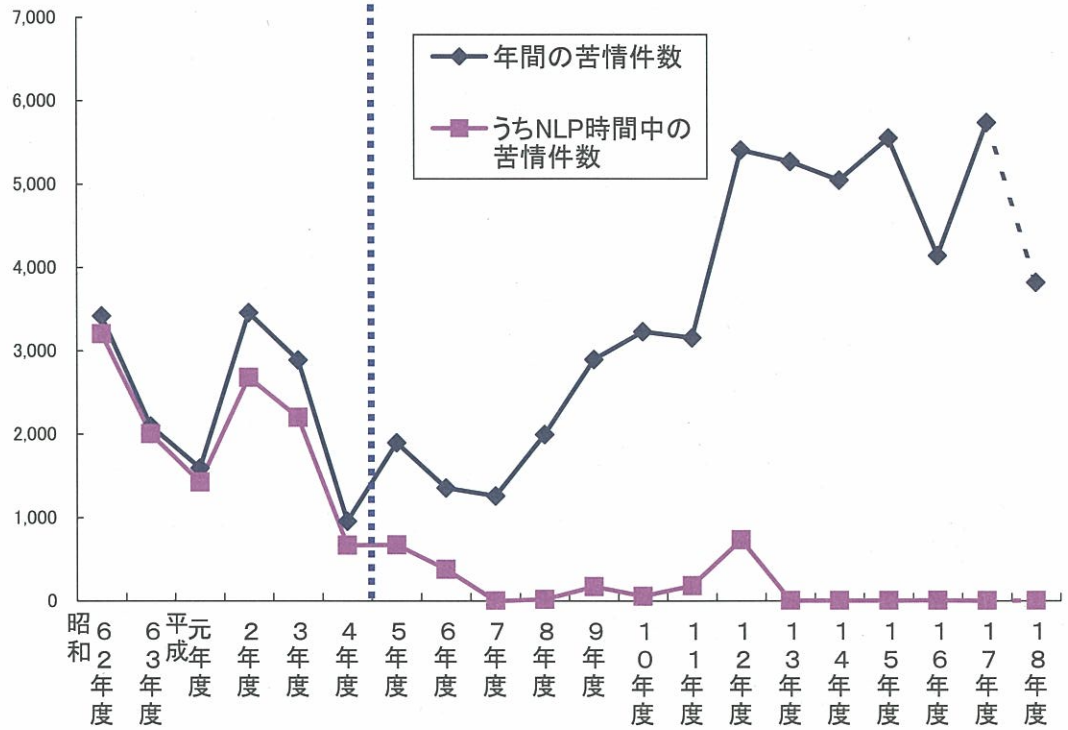
注1：NLP …… Night Landing Practice の略

注2：直結方式…… 空母艦載機の帰還と着艦を、空母と硫黄島の間で直接行うとともに、NLPと通常訓練をすべて硫黄島で行う方式

厚木基地問題に関する最近の状況

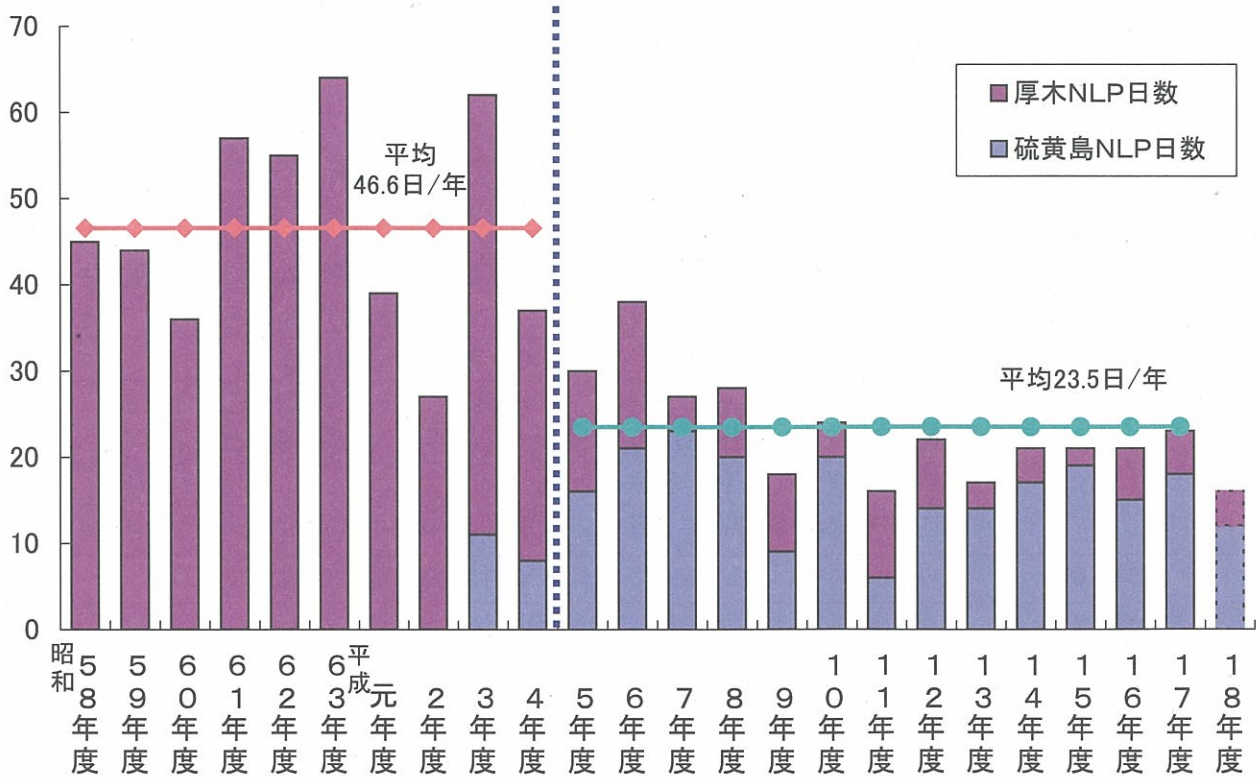
平成 14 年 2 月	日米両政府間で、できる限り多くのNLPを硫黄島において実施することが了解された。
14 年 3 月	厚木基地でNLPが実施された。
14 年 5 月	デモンストレーションフライトが廃止された。
14 年 10 月	厚木基地でNLPが実施された。
15 年 1 月	厚木基地でNLPが実施された。
15 年 1～2 月	瀬戸内海最大の無人島にNLP訓練施設を含む防衛施設の誘致の動きがあったが、白紙撤回となった。
15 年 10 月	厚木基地でNLPを実施するとの通告があったが、初めて硫黄島での日程を延長してNLPを実施し、厚木基地では実施されなかった。
15 年 11～12 月	FA18Fスーパーホーネット戦闘攻撃機13機が、F14トムキャットに代えて、配備された。
16 年 2 月	厚木基地でNLPが実施された。
16 年 7 月	厚木基地でNLPが実施された。 第五空母航空団所属のヘリから銃弾200発が落下した。
16 年 10 月	FA18Eスーパーホーネット戦闘攻撃機13機がFA18Cホーネットに代えて、追加配備された。
16 年 12 月	FA18Cホーネットから部品の一部が脱落し、藤沢市内の工場の屋根に穴を開けた。
17 年 1 月	厚木基地でNLPが実施された。
17 年 2 月	伊勢原市内にキャンプ座間所属のヘリが不時着した。
17 年 4 月	飛行を終えて厚木基地に戻った第五空母航空団所属の艦載機2機から部品が紛失しているのがわかった。
17 年 5 月	厚木基地でNLPが実施された。
17 年 7 月	藤沢市片瀬海岸に厚木基地所属のヘリが不時着した。
17 年 10 月	厚木基地でNLPが実施された。 在日米軍再編協議において、空母艦載ジェット機等の移駐案が合意され、「日米同盟:未来のための変革と再編」(中間報告)が公表された。
18 年 1 月	約20年ぶりに住宅防音工事区域の見直しが行われた。
18 年 5 月	在日米軍再編協議において、空母艦載ジェット機等の移駐が合意され、「再編実施のための日米のロードマップ」(最終報告)が公表された。 厚木基地でNLPが実施された。 在日米軍再編に関する基本方針が閣議決定された。
18 年 6 月	日米合同委員会において在日米軍再編総括部会が設立された。
18 年 7 月	大和市が厚木基地の航空機騒音をシミュレーションするシステムを構築したことを発表した。 厚木第三次騒音訴訟の控訴審において、WECPNL75以上の騒音は受忍限度を超え違法との判決が出された。(上告断念により確定)
18 年 8 月	防衛庁は平成19年度予算の概算要求において、在日米軍再編のための取組(地元の負担軽減に資する措置)として「厚木飛行場から岩国飛行場への空母艦載機の移駐等(調査費等)」を項目として挙げた。
18 年 10 月	厚木基地でNLPが実施された。

(グラフー1) 年度別苦情件数及びNLP時間中の苦情件数



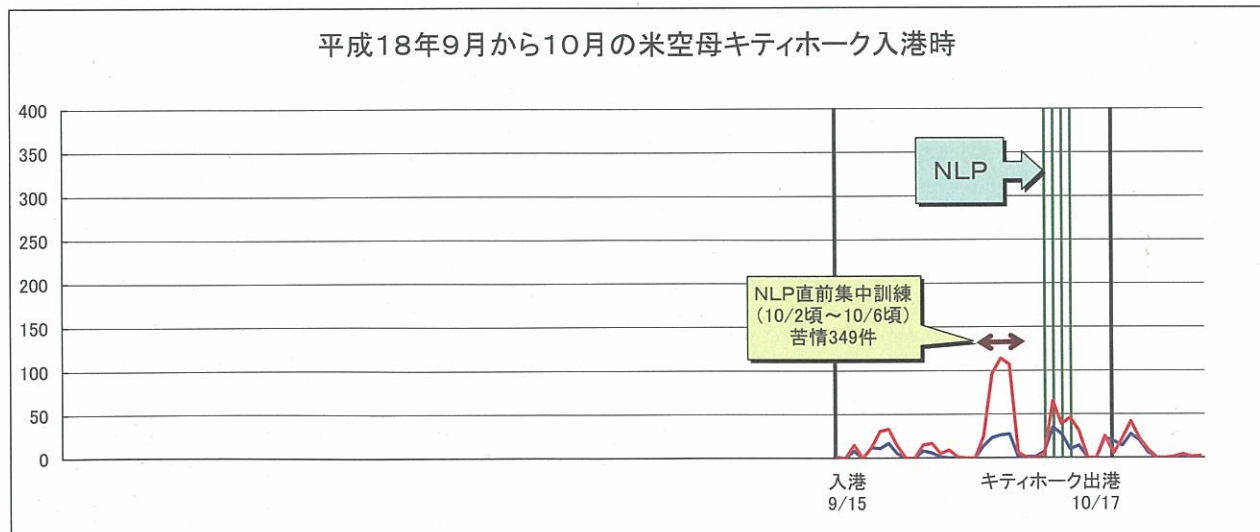
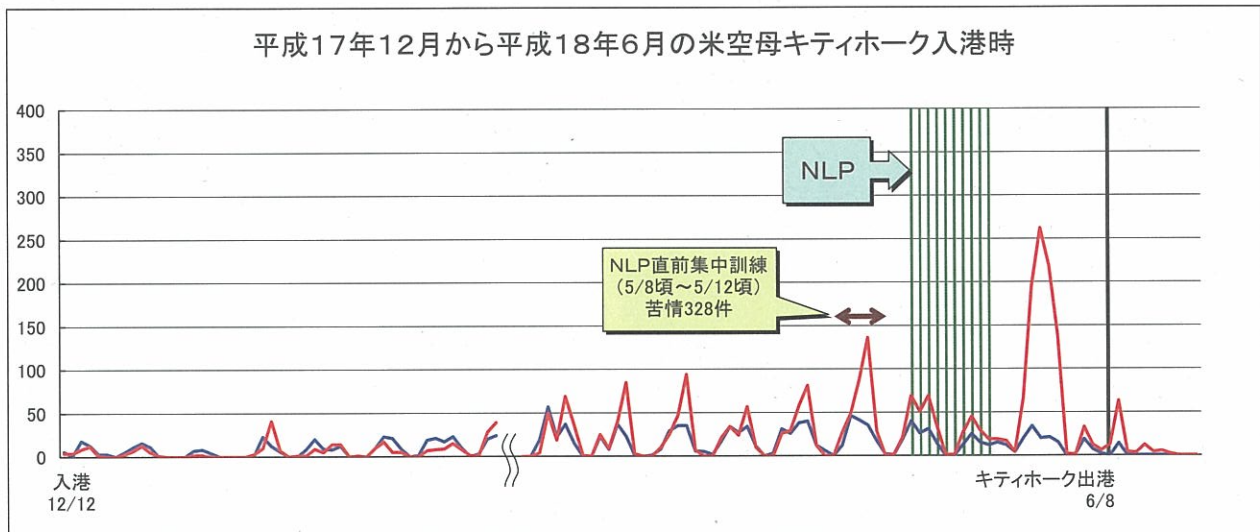
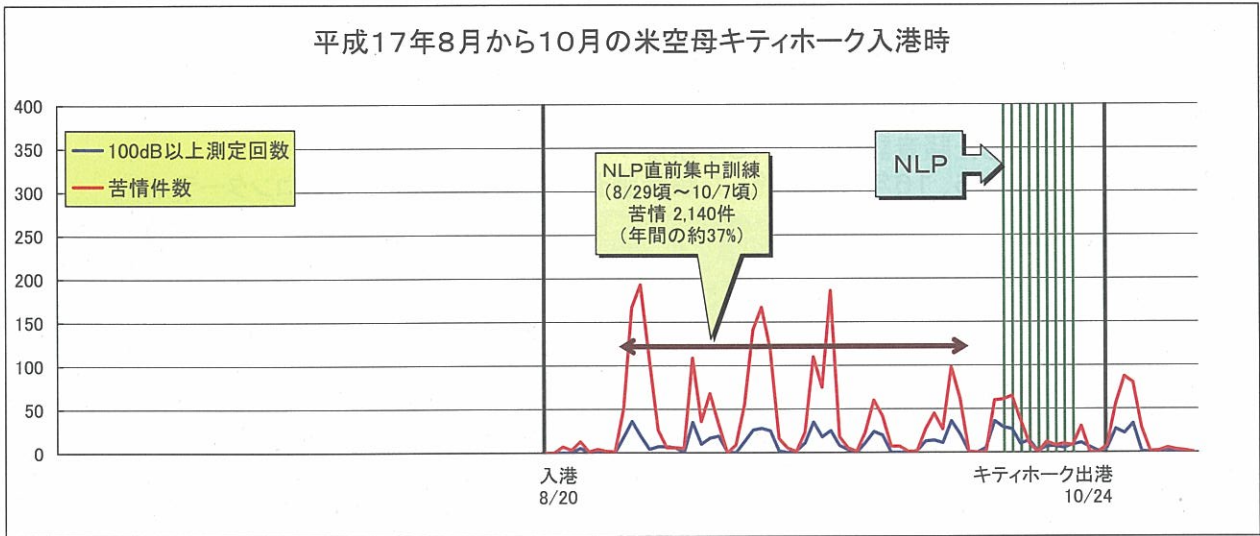
※ 18年度は10月末現在の件数

(グラフー2) 厚木基地及び硫黄島におけるNLP実施日数の推移



※ 18年度は10月末現在の日数

(グラフー3) 空母入港中の騒音測定回数及び苦情件数の状況



* NLP直前の集中的訓練の時期は、苦情件数が100件を超えた日を含む週の月曜日から金曜日までとした。
* 騒音測定回数は、滑走路北端から1km地点にある自動記録騒音計(県設置)が100dB以上を測定した日毎の回数。

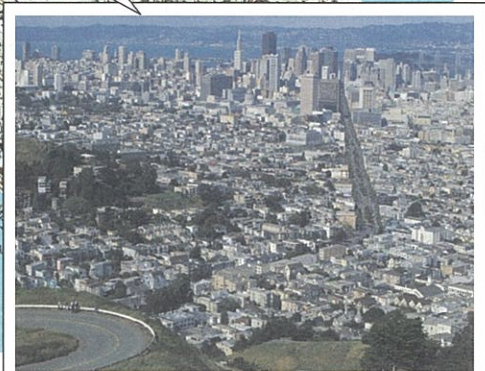
厚木基地周辺とオセアナ海軍基地周辺の人口密度比較

厚木基地周辺

- ・ 地図上に示した数値は、本協議会において参考値として算出した空母入港期間中(平成17年3月28日から5月23日)のLdnの値。
- ・ ●は、Ldnを算出した騒音計の位置(15か所)。
- ・ 赤線は、国が平成15、16年度に実施した騒音調査に基づくWECPNL75のコンターライン。

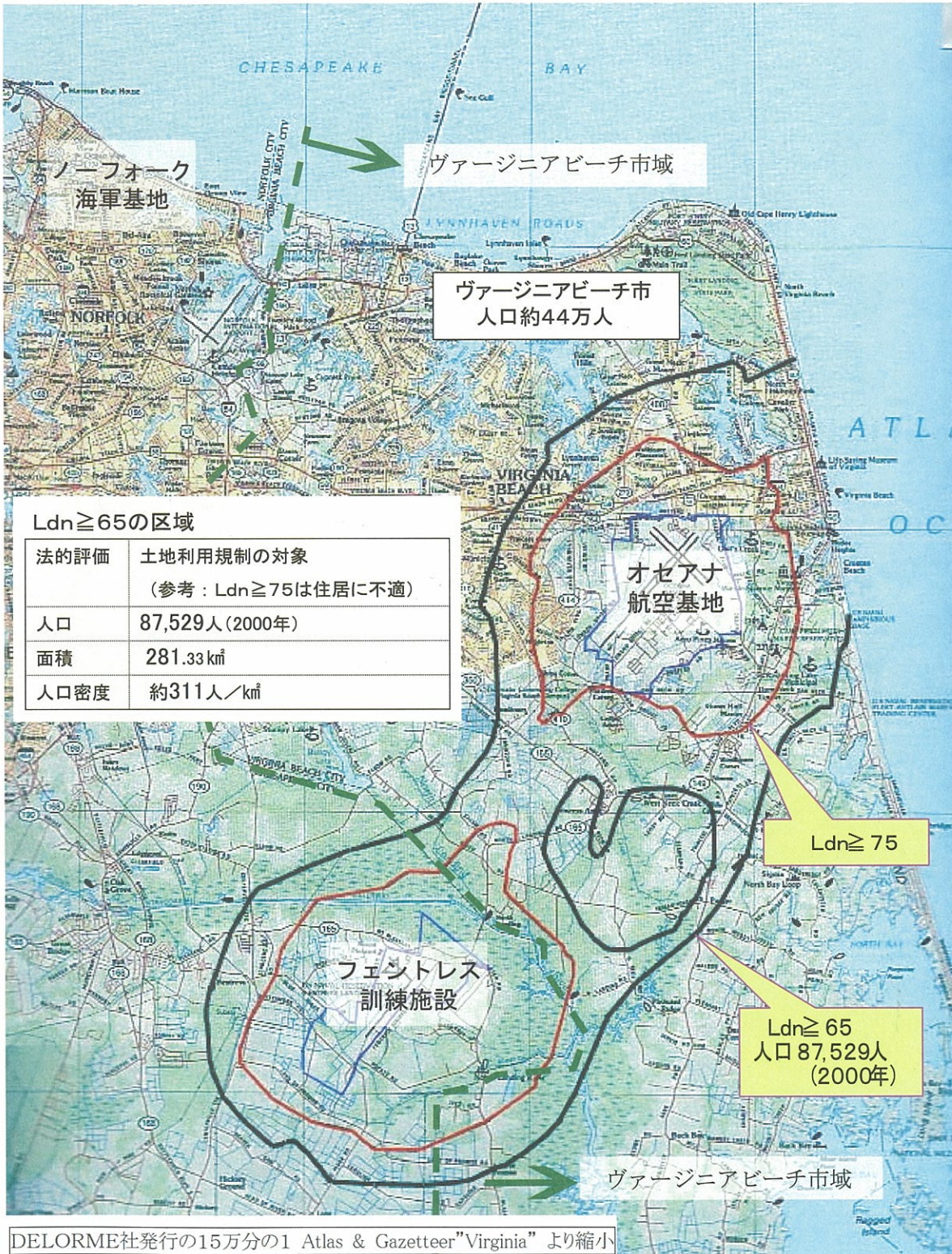


国土地理院発行の20万分の1地勢図「東京」及び「横須賀」よりこの地図は国土地理院長の承認を得て同院発行の20万分の1地勢図を複製したものである。(承認番号 平18関複、第317号)



オセアナ海軍基地周辺

- ・ 海軍オセアナ航空基地(アメリカ合衆国ヴァージニア州)は、米海軍最大の航空基地。
- ・ FCLP(NLP)を実施しており、かつ人口密集した都市部に隣接した航空基地として代表的なもの。



注1 いずれも約1/200,000の同縮尺

注2 Ldnは、WECPNLとは異なる騒音尺度で、夜間(22時~7時)の騒音に対して単純に10dB大きく評価したもの